

(1)円滑かつ迅速な避難

流域タイムライン作成

- ・関係機関と連携し、Web会議等により実際の災害対応における危機感を共有しながら作成

コミュニティタイムライン、マイタイムライン等の作成・支援

- ・防災意識の高い地区等に専門家を派遣し、タイムライン、防災マップの作成支援
- ・ハザードマップの周知およびそれを活用した避難訓練の実施

要配慮者利用施設における避難確保計画作成、避難訓練への支援

- ・新規施設への講習会実施
- ・避難訓練の優良事例を水平展開

避難場所となる民間施設、公共施設の確保

- ・各市町において関係者と協議、必要に応じて、県も市町と施設のマッチング等を支援

(2)的確な水防活動

大雨等に備えた情報共有の充実、情報伝達訓練の実施

(3)一刻も早い復旧

大規模災害時における資機材活用、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)要請

流域タイムライン作成

作成手順イメージ



- ・各関係機関の防災行動を洗い出し、時系列で集約
(下記タイムラインイメージ参照)
- ・情報共有の手段・体制等を確立
(WEB活用、参集して情報共有する場合の場所・タイミング等を調整)
- ・災害が予測される時、災害発生時に情報共有を実施
(実施のタイミングはタイムラインを参照)
- ・関係機関同士、危機感を共有しながら、対策実施
- ・必要に応じて内容見直し

タイムラインイメージ

	72~24時間前		24~12時間前				12時間前 ～災害発生時	災害発生時	
	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3		警戒レベル 4		警戒レベル 5		
河川国道事務所		関係機関等注意喚起 注意喚起広報 (報道機関向け)	被害情報収集、水防活動 ※被害発生時→県等関係機関に情報共有 管理施設パトロール、県へのリエゾン派遣等				県等関係機関に情報共有 管理施設パトロール、復旧作業	救出・救助 復旧作業 広域応援要請	
県		市町等への注意喚起 注意喚起広報 (Lアラート等)	被害情報収集、パトロール、水防活動 ※被害発生時→関係機関に情報共有 被害状況とりまとめ、広報	災害対策連絡室設置	市町へリエゾン派遣 被害情報収集	災害対策本部設置 救出・救助、復旧作業 関係機関に情報共有→連携して対応 例：被災箇所へのアクセス確保 等	救出・救助 復旧作業 広域応援要請 自衛隊派遣要請		
A市		住民向け注意喚起 (防災無線等)	被害情報収集 ※被害発生時 →県等への報告	高齢者等避難発令 避難所開設	被害情報収集 ※被害発生時 →県等への報告	災害対策本部設置 避難指示発令 避難所開設	被害情報収集 水防活動、パトロール等実施 ※被害発生時 → 県等への報告	緊急安全確保発令	
B市									
C町									
气象台	早期注意情報 (警報の可能性)	大雨注意報発表	大雨警報発表		土砂災害警戒情報 河川氾濫危険情報	記録的短時間 大雨情報等	大雨特別警報	記者会見(気象庁)	
北陸電力	注意喚起(停電への備え等)		被害状況確認、障害復旧、復旧見込みHP公開 等				被害発生時 一県等に情報共有 ※県へリエゾン派遣	被災箇所復旧 ※必要に応じて県等にアクセス確保の支援要請	
N T T 西日本			被害状況確認、障害復旧、復旧見込みHP公開 等				被害発生時 一県等に情報共有 ※県へリエゾン派遣	被災箇所復旧 ※必要に応じて県等にアクセス確保の支援要請	
J R 西日本		特急等運休見込み広報		普通列車等運休			被害発生時 一県等に情報共有	県土木、警察・消防 等現場確認 現場への作業車手配等	被災箇所復旧
えちぜん鉄道	乗客向け注意喚起(運休等)		運休						
福井鉄道									

コミュニティタイムライン、マイタイムライン等の作成・支援

タイムライン、防災マップの作成支援

NPO法人ドラゴンリバー交流会主催ワークショップ

- ・アドバイザーとして国、県から職員が参加
- ・9地区でマイタイムライン作成講座等を実施（H29～R3年度）
 - H30年度 4地区（福井市新種池、舞屋、清水北地区、敦賀市三島・津島地区）
 - R元年度 2地区（福井市円山、若狭町野木地区）
 - R2年度 1地区（福井市森田地区）
 - R3年度 2地区（福井市中藤島、福井市和田地区）
- ・R4年度以降も継続実施（福井市河合、福井市酒生地区）

ドラゴンリバー ワークショップ 福井市中藤島地区



地域防災マップ作成研修

- ・防災士、地域のリーダー等に対し、地域防災マップの作成研修を実施
 - ・R4年度からタイムライン作成を研修メニューに追加（講師：福井河川国道事務所）
- ※R3年度研修実績：2回開催 114名受講

地域防災マップ作成研修



ハザードマップの周知、避難訓練の実施

防災出前授業

- ・小中学校向け防災出前授業において、マイタイムライン作成等を周知
- ※R3実績：12校 636名受講

ハザードマップ周知

- ・各種ワークショップ、研修等の機会を通じてハザードマップを周知
- ・ハザードマップを活用した避難訓練を実施

ハザードマップ、マイタイムライン周知



令和4年5月31日 福井新聞23面

要配慮者利用施設における避難確保計画作成、避難訓練への支援

避難確保計画作成支援

要望に応じて、新規施設に対し、避難計画作成の講習会実施

- ・市町からR4年度以降に設置された要配慮者利用施設に対し、計画作成を依頼
- ・計画作成が進まない場合、市町から県に対し講習会実施を依頼
- ・県による避難確保計画作成の講習会実施

避難確保計画作成 講習会



避難訓練への支援

優良事例の水平展開

- ・県内外の避難訓練事例を収集・分析し、ノウハウを市町と共有
- ・市町から各施設に対し、上記の情報を提供し、避難訓練の実施を促進

参加者アンケート

- ・市町から各施設に対し、避難訓練参加者へのアンケートを奨励
- ・アンケート結果を基に避難確保計画を改善

※アンケートひな型は県で作成

要配慮者施設における避難訓練



大雨等に備えた情報共有の充実、情報伝達訓練の実施

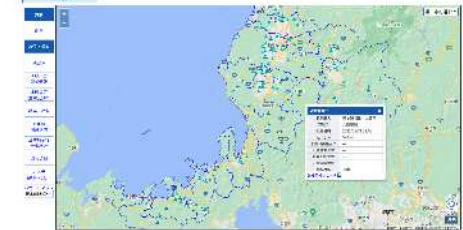
情報共有の充実

WEB等を活用し、リアルタイムで情報共有

- ・インターネットで雨量・水位・河川監視カメラ映像等の情報を提供
- ・台風や前線の接近前から、関係機関とWEB会議を実施し、危機感を共有
- ・避難指示等発令の判断に資する情報の共有

(県から市町に対し、越水、土砂崩れの発生や発生のおそれがある場合に情報提供)

福井県防災ネット:水位情報



河川カメラ:志津川 福井市大森町(宮前橋観測所)

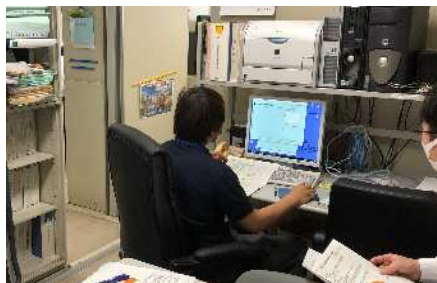


情報伝達訓練

出水期に備え、関係機関と連携した訓練を実施

- ・土砂災害警戒情報伝達訓練 (県と気象台が発表する情報を各市町、土木事務所に共有)
- ・洪水対応演習 (国、県で河川の被害情報を共有する訓練を実施)
- ・災害発生を想定した水防訓練 (県土木事務所において図上形式で実施、R4年度から新たに市町とも連携)
- ・被災現場の映像伝達訓練 (県土木事務所のドローンを活用、R4年度から新たに市町にも情報共有)

土砂災害警戒情報伝達訓練



災害発生を想定した水防訓練



被災現場の映像伝達訓練

